

# 立川を語る

## えてびあん流によむ 1200年

えくてびあん  
別冊

立川と語ろう 立川に生きよう  
Écoutez Bien Extra Issue No.9



# 立川の歴史を語る

## 立川の始まり——諏訪神社



諏訪神社(2016.10.21)

市役所のHPにある年表は諏訪神社から始まっている。諏訪神社の高橋重雄宮司に最近の諏訪神社を語ってもらった。

諏訪神社の御祭神、建御名方命が弘仁2(811)年に柴崎町出口——今の諏訪の森公園ですね、そこに勧請鎮座された時から諏訪神社は始まり、平成23(2011)年に御鎮座1200年を迎えるました。天正14(1586)年に周囲の草木と一緒に野火で社殿が焼失し、その後平成6(1994)年に不審火により焼失してしまいました。もともと神社は今の諏訪の森公園の中にありました。天正14年の火事の時は、そこにある社殿が燃えたわけです。その後今の場所に移りましたが、元あった場所には諏訪神社跡という碑が建っています。といつてもその碑も動いてしまったので、現在公民館跡を整備しているのに付随して、碑を元あった場所に戻してもらおうと思っています。2017年の3月頃には玉石を積んでもっと高い碑にして整備する予定です。

平成6年の火事の時は砂川からも消防団の消防車が来てくれて、こんなにたくさんの消防車が来たから、拝殿は燃えていても本殿は大丈夫だろうと思っていたのです。ところが屋根が大きいですから、火が下から屋根を覆うように吹き上げて来て、あれよあれよと言う間

に燃えて行きました。現存する末社の目の神様が祀ってある辺りの覆い屋根には当時の焦げ跡があります。出火したのが未明でしたが、鎮火は朝の6時半ですからね。うちの母親や家内は、持久戦だと言っておにぎりを作つてふるまつたりしたのですが、大きな火事になると消防署の食堂車両が来るんですね(笑)。車の中がどうなっていたのか、そこまで見る余裕はありませんでした。消防署に言われて紙に見取り図を描いたのですが、作戦会議を開くんです。いやあ、1日長かったです。その後も父は大変だったと思いますよ。お金はないしね、拝殿がありませんから。別の仕事をするとかなど考えたりしました。翌年、普濟寺さんが焼失しました。毎年消防訓練をしていますが、本当に消防訓練は大事だと肌身で感じています。

昭和41年の台風では神楽殿が倒れました。神楽殿と境内の神木50数本が倒れてしまった。神楽殿が倒れたよ!と母に起こされた記憶がありますね。その後工事中の神楽殿へ行って、近所のお兄さんたちと飛び下りて遊んでいたはいいけれど上がれなくなってしまった。泣きながら引き上げてもらったことがありました。今でも神楽殿の裏の階段に昔の小さな足跡があって、私のものかななんて思ったりします。

高橋家は元々は宮崎という姓でした、曾祖父が養子に出た先が高橋で、神社を継ぐために戻ってきたのでその時から高橋姓です。氏子さんは、羽衣、錦、柴崎、富士見、曙です。夏のお祭りの神酒所開きは50町会に同好会が3つプラスされますが、全部手分けして回ります。祖父の頃までは高松町も入っていました。今は熊野神社ですが、以前は熊野神社も諏訪神社で管理していた時期がありましたので。熊野神社は今、2代目ですね。3代目の若い息子さんたちが一生懸命やっていますね。社務所を建替えて、明るくなつて、とても広く感じます。

2016年は大相撲夏巡業立川立飛場所の土俵祭をさせていただき、来年は11月19日に流鏑馬神事の祈願祭をさせていただく予定です。土俵祭は初めての経験でプレッシャーでしたね。本場所の土俵祭をYouTubeで何度も見ました。相撲の世界では口上がり大切なので、口上を入れる祝詞にしたりして、いい勉強になりました。2018年の巡業はもう大丈夫です(笑)。神社の雑用は私の仕事で(笑)、絵馬は七五三前に古いものははずし、おみくじも年に2回、夏の前と年末にきれいに外します。それも私の仕事です(笑)。



宮司 高橋重雄氏

# 立川の歴史を語る —えくてびあん流に—

811(弘仁2年) 諏訪神社創建される。

1353(文和2年) 普濟寺開山される。

1455(享徳4年) 第一次立河原の合戦起きる。

1504(永正元年) 第二次立河原の合戦起きる。

1600(慶長5年)

・慶長年間から岸村(現武藏村山市岸)の百姓村野三右衛門が砂川新田(現一番町から幸町)の開墾を始め、寛永年間に⼊て居住を始める。

1629(寛永6年) 砂川の阿豆佐味天神社創建される。

1654(承応3年) 玉川上水が開通。

1657(明暦3年) 砂川分水が開通。

1688年から1704年まで(元禄年間)

・このころ諏訪神社に伝わる獅子舞が始まる。



諏訪神社の獅子舞



5176年から1736年まで(享保年間)

・殿ヶ谷分水できる。徳川吉宗の新田開発政策により、砂川新田(現幸町)、砂川前新田(現若葉町)、殿ヶ谷新田、宮沢新田、中里新田(現西砂町)、榎戸弁天新田、八軒新田、芋窪新田(現幸町、栄町)の開墾が始まる。

1726(享保11年) 熊野神社、高松町七軒家の氏神様になる。

1737(元文2年) 柴崎分水が開通。



1860(安政7年)

・常陸の国(現茨城県)の蚕影神社、阿豆佐味天神社境内に分社される。

1870(明治3年) 普濟寺に郷学校開設(現市立第一小学校)。

1872(明治5年)

・砂川村、流泉寺に西砂川学校開設(現市立第九小学校)。



多摩川鉄橋(2009年撮影)



多摩川鉄橋(上り線の橋げたは今と同じ日野煉瓦製 昭和5年ころ 写真:歴史民俗資料館)

1889(明治22年)

・市制・町村制施行。立川村は独立村となる。

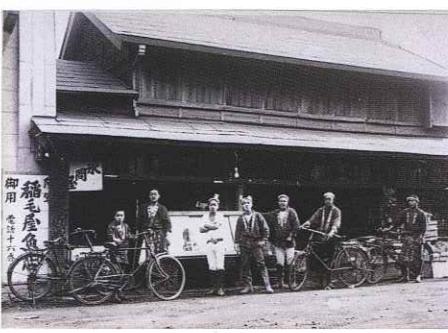
・甲武鉄道(現中央線)の開通。立川停車場ができる(4月11日)。

1894(明治27年)

・日清戦争始まる。

・青梅鉄道開通(11月19日)。

・鮮魚商「稻毛屋」(現いなげや)創業。



「稻毛屋」(写真:いなげや)

1901(明治34年)

・東京府立第二中学校(現都立立川高校)開校(5月3日)。

1902(明治35年) 立川郵便局が3等集配局として開局。

1906(明治39年) 甲武鉄道国有となり中央線と改称。

1911(明治44年)

・ノルウェーのアムンセン隊 世界で初めて南極点に到達(12月14日)。

1912(明治45年)

・イギリスのスコット隊 南極点到達(1月17日)。

・白瀬轟ら南極探検隊 南極大陸大和雪原に日章旗を掲げる(1月28日)。



2012年1月28日「白瀬日本南極探検隊100周年記念」の白瀬DNAモニュメント除幕式(南極・北極科学館)

1915(大正4年)

・立川村に電気供給開始。

・「正盛堂(柴崎町)」創業。

1916(大正5年)

・東京府原蚕種製造所、立川村に設置される。



柴崎町にある蚕糸振興記念碑(蘭の形をしている)と貞明皇后御歌碑。貞明皇后は大日本蚕糸会総裁であられ斯業獎勵の厚き御言葉を賜ったと記録にある。2016年は蚕業試験場が立川市に設置されて100年になる(話:浅海寅氏)

立川市は近隣市町と少し成り立ちが違います。だからこそ「立川」! 街道沿いでもないし、水田はほとんど無い。どんな風に街は発展してきたのでしょうか。もっともっとたくさん、大事な項目がありました。でもえてびあんは写真で見せる冊子です。残念ですが思い切って項目を削りざっくりと1200年を記しました。ご協力くださった皆様、本当にありがとうございました。

参考資料:立川市ホームページ「写真でみる立川の街づくり」・かえりみる半世紀 そして未来に」月刊えてびあんパックナンバー



根川堤より日野橋をのぞむ。右後方に日野橋(昭和16年ころ 写真:歴史民俗資料館)



横田基地に向かうAIR FORCEの飛行機



立川高校(昭和63年 武田和紀氏)



昭和基地 転がる太陽(2009年5月24日撮影 写真:武田康男氏)

1953(昭和28年)

・立川商工会議所設立。

・南口商店会に大ネオンアーチ完成。

・立川銀座商店会にアーケード完成。

・多摩中央信用金庫、曙町に移転、開業(設立は昭和8年)。

・富士見町、柴崎町で井戸水が燃える。

・NHKテレビ放送開始。

・米軍ジェット機が富士見町の麦畑に突っ込み大破。

・根川が米軍基地からの汚水でどぶ化。

・普濟寺6面石幢国宝に指定。

1954(昭和29年)

・砂川村、町制を施行(6月30日)。

・緑川改修工事完成。

・北口駅前通り商店会が大ネオン塔と水銀灯を設置。

・防衛庁 自衛隊発足。

・中央線準急が立川駅に停車。

1955(昭和30年)

・砂川町で立川基地拡張反対闘争展開。

・立川市、国立町が東立川駅設置促進大会開催。

・砂川基地拡張で強制測量。

1956(昭和31年)

・南口に東映南座開業。(~昭和57年)現在はウインズB館。

・調達局が測量強行、ピケ隊と機動隊が衝突。

・政府、砂川の測量中止を発表。10月13日。

・伊勢丹立川店が北口駅前通り商店会の街区内に移転、開業。

・立川基地とフィンカム基地が合併。

・日ソ国交回復。

・国連加盟。

・第一次南極地域観測隊「宗谷」で出発。

1957(昭和32年)

・市営野球場完成。

・5千円札発行。

・立川基地の輸送機が砂川町内に墜落。

・第1次南極地域観測隊が昭和基地を開設(1月29日)。

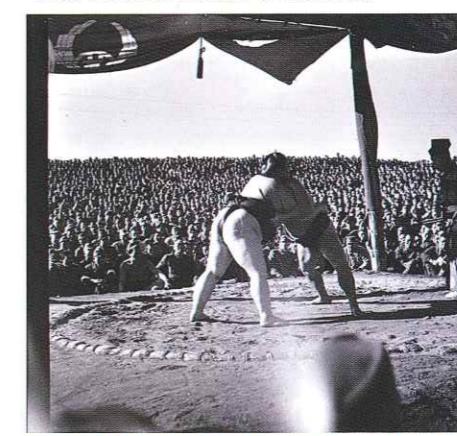
・国際地球観測年実施(7月から翌年の12月まで)これを契機に南極「観測の時代」に入る。

1958(昭和33年)

・錦町に立川市庁舎落成(12月10日)。

・砂川町で上水道事業開始。

・1万円札発行



戦時中に行われた大相撲巡業 場所は立川飛行機内と思われる(写真:清水一郎氏)



立飛にお勤めだった清水一郎さんのお父様と横綱・照國(写真:清水一郎氏)



西の踏切カタシネルに(写真:歴史民俗資料館と武田和紀氏)



立川警察署(平成7年2月8日撮影 写真:武田和紀氏)



真如苑発祥精舎

**1959(昭和34)年**(市長は桜井三男氏)

- ・米軍T33ジェット練習機が砂川町4番組の畑に墜落。
- ・皇太子明仁親王ご成婚。
- ・行政道路(曙町・錦町)に地下式歩道が完成(中央線ガード下)。
- ・伊勢湾台風。
- ・南極条約に調印。
- ・**1960(昭和35)年**
- ・市立第一小学校防音校舎落成。
- ・緑川覆蓋工事実施。
- ・長崎屋立川店が立川銀座商店会の街区で開業。
- ・日米安全保障条約調印。
- ・カラーテレビ本放送開始。
- ・東立川駅新設認可。
- ・第4次南極地域観測隊 越冬隊員遭難。

**1961(昭和36)年**

- ・東京消防庁第8方面本部立川市高松町に設置。
- ・立川市で下水道事業開始。
- ・韓国に軍事クーデター。
- ・東独、東西ベルリンの境界に壁を構築(ベルリンの壁)。
- ・東立川駅着工延期。

**1962(昭和37)年**

- ・立川駅東踏切の地下道が完成(10月10日)。
- ・諏訪の森公園遊園地完成。
- ・立川市内商店の売上げが総額400億円をこえ、都下14市のトップに。
- ・中戸バートが現在の地で開業。
- ・**1963(昭和38)年**
- ・立川市、砂川町の合併なる(5月1日)。
- ・立川市消防局が結成され、第1回の水防訓練が立川市、昭島市、国立町(現国立市)の2市1町と立川消防署の合同で行われる。
- ・立川市が国立町と折半で東立川駅設置設計費を国鉄に納入。
- ・ケネディ大統領暗殺。

**1964(昭和39)年**

- ・立川駅構内で無人のタンク車が暴走。火災事故起きる。青梅線立川駅から1000分の2の傾斜がある線路を約2km走って立川駅に突入、炎上した(1月4日)。
- ・立川練成館が落成。
- ・奥多摩バイパス開通(6月11日)。
- ・東京オリンピック開催。聖火が市内を通過(10月10日～)。
- ・立川公園水泳場完成。
- ・東海道新幹線(東京・新大阪)開業。
- ・在日米軍の削減、配置転換について公式発表(立川のC124飛行隊本国引揚げ)。

**1965(昭和40)年**

- ・立川警察署、鉄筋コンクリート4階建てに建て替え(平成7年2月13日まで柴崎町)。
- ・立川駅西踏切の地下道完成(6月21日)。
- ・立川青年会議所設立。
- ・米国北ベトナム爆撃開始。
- ・台風17号の大風で残堀川が氾濫。
- ・**1966(昭和41)年**
- ・南口土地区画整理事業計画告示。
- ・台風立川市を襲う(災害救助法が適用される)。
- ・立川市商店会連合会を立川市商店街振興組合連合会に改組。
- ・第一バート開業。
- ・中国で文化大革命始まる。
- ・ビートルズ来日公演。



資料:沼本忠次氏

- ・面返還決定(1月23日)。
- ・石油ショック(第4次中東戦争勃発)。
- ・ベトナム戦争終結和平協定調印。
- ・陸上自衛隊東部方面航空隊が立川基地への移駐を完了。
- ・基地の一部返還による市道第426号線(緑川駐車場から第6ゲート)が開通。
- ・国立極地研究所 板橋区加賀に創設。
- ・**1974(昭和49)年**
- ・市民会館開館。
- ・南口区画整理一部移転工事に着手。
- ・市の木「ケヤキ」・市の花「コブシ」決まる。
- ・砂川地区開発協議会発足。
- ・根川公園開園。
- ・高松バイパス全面開通。
- ・**1975(昭和50)年**(市長は岸中士良氏)
- ・稻毛屋南口店が閉店時間を20時から21時に変更。
- ・戦後初のマイナス成長。
- ・ベトナム戦争終結。
- ・失業者100万人突破。
- ・**1976(昭和51)年**
- ・立川市基地利用推進協議会発足。
- ・立川基地跡地三分割有償方式に反対市民大会開かれる。
- ・南口駅前に共同化ビル「東武ストア」建設着手。
- ・第三次首都圏基本計画において立川市は核都市として位置づけられる。
- ・村内ホームセンター幸町店が開業。
- ・緑屋立川店撤退。
- ・立川北口大通り商店会で歩行者天国。
- ・南口駅前バス発着所完成。
- ・**1977(昭和52)年**
- ・基地跡地三分割有償方式反対の市民運動開始。
- ・矢川、緑地保全地域に。
- ・米軍、立川基地の飛行業務停止を発表(10月)飛行停止は12月。
- ・東大安田講堂に機動隊。
- ・立川基地内から砂川反戦塹壕に向かって発砲。
- ・立川市が世界連邦平和都市を宣言。
- ・東名高速道路全線開通。
- ・市営プール開場。
- ・アプロ11号 初の月面着陸。
- ・ヒッピーブーム。
- ・大丸百貨店が立川銀座商店会の街区で開業。
- ・西友西国店が現在地で開業。
- ・緑屋立川店が菊屋川口ビルで開業。
- ・**1978(昭和45)年**
- ・立川駅北口銀座通りで歩行者天国実施(9月)。
- ・丸井立川店が曙町で開業。
- ・高島屋立川店が北口前で開業。
- ・伊勢丹立川店が曙町に自社ビル建設して開業。
- ・ダイエー立川店が緑川通り沿いで開業。
- ・万国博覧会開催。



昭和45ころの南口から北口を見る(写真:荒井明久氏)

- ・**1979(昭和54)年**
- ・国鉄が立川駅改良に着手(5月28日起工式)。
- ・国有財産中央審議会「立川飛行場返還国有地の処理について」決定(11月19日)。国営昭和記念公園の設置を閣議決定(11月30日)。
- ・大相撲巡業立川場所開催。



大相撲立川場所(写真:立飛HD)



- ・**1980(昭和55)年**
- ・市民体育館(現泉市民体育館)完成。
- ・立川市、都市再開発法の政令で定める大都市に指定。
- ・立川基地跡地で昭和記念公園の建設工事開始(3月3日)。
- ・イラン、イラク戦争勃発。
- ・**1981(昭和56)年**
- ・立川駅仮駅舎・跨線橋の使用開始(4月2日)。
- ・国鉄で立川駅舎改造構想発表(12月)。
- ・初の共同ビル、南口の「東武ストア」開店。
- ・市長、市議会は昭和記念公園の建設要請書を建設大臣に申入れ(6月10日)。
- ・9月30日16時30分、基地司令本部に翻っていた米国旗、国連旗が姿を消す。
- ・有珠山噴火。
- ・日本赤軍が日航機乗っ取り。
- ・**1982(昭和57)年**
- ・多摩地域都市モノレール等建設促進協議会発足(7月9日)。
- ・立川駅舎、立川駅ビル「ウイル」、立川駅南北自由通路完成。
- ・C-1輸送機初飛来。
- ・羽田沖で日航機墜落。
- ・第1回立川マラソン。
- ・5百円硬貨発行。
- ・**1983(昭和58)年**
- ・練成館相撲場が完成。
- ・北口・跡地地区・都市基盤整備事業の概要まとまる。
- ・国営昭和記念公園が一部オープン。昭和天皇陛下ご臨席のもと開園式(10月26日)。
- ・西武拝島線「武蔵砂川駅」オープン(12月12日)。
- ・銀行が土曜休業に。
- ・南口駅前マクドナルド出店。(立川第1号店は日野橋)



駅舎工事が始まる前。右上には戦前の建物が今も残っている。(写真:荒井明久氏)

・大韓航空機がサハリン沖で墜落。

**1984(昭和59)年**

- ・C-1輸送機着陸訓練始まる。
- ・都は多摩モノレール南北線のルート(多摩市～東大和市間16km)を決定。
- ・立川青年会議所主催 第一回メトロポリス祭開催。
- ・場外馬券売り場予定の共同ビル着工。
- ・NHK衛星放送本放送開始。
- ・新札発行(1万・5千・千円)。
- ・「月刊えくとびあん」創刊。
- ・**1985(昭和60)年**
- ・歴史民俗資料館オープン。
- ・南口に場外馬券売り場開業(11月2日)。
- ・立川北口大通り商店会で第一回立川北口氷彫刻まつり開催。
- ・第9回羽衣祭りに本格的扇ねぶたが登場。
- ・リッカーライフ工場閉鎖。
- ・日本の平均寿命、世界一に。
- ・国鉄のダイヤ改正に伴い、立川駅に特急あざさとすべての急行が停車。
- ・科学万博開催。
- ・立川公園に菖蒲園開園。
- ・国営昭和記念公園にレインボープール開園。
- ・日航ジャンボ機群馬県の山中に墜落。
- ・**1986(昭和61)年**
- ・立川マラソン日本陸連の公認レースとなる。
- ・立川駅北口・基地跡地地区などの都市計画案まとまる。
- ・15万人都市になる。
- ・多摩都市モノレール株式会社、設立(4月8日)。
- ・東京サミット。
- ・玉川上水に21年ぶりに清流が復活。
- ・三原山噴火。



開発前の南口



1988年 メルヘン立川号は夢と一緒にディズニーランドへ直結(写真:沼本忠次氏)



(写真:武田和紀氏)

- ・國の行政機関等の移転先発表。立川市に自治大学校等5機関が移転先として決定。
- ・マイテレビ株式会社設立。
- ・消費税施行。
- ・立川ユザワヤが柴崎町2丁目で開業。
- ・昭和天皇崩御。
- ・東西ドイツ、ベルリンの壁崩壊。
- ・**1990(平成2)年**
- ・住民基本台帳電算化システム稼動。
- ・「立川5景」を選定、写真集「たちかわ」を作製。
- ・根川貝殻坂橋が完成。
- ・多摩都市モノレール建設工事始まる(起工式11月26日)。
- ・市制施行50周年記念式典開催(12月1日)。
- ・マイテレビ開局、錦、羽衣、曙、高松で放送開始。
- ・統一ドット誕生。

**1991(平成3)年**

- ・立日橋全面開通(3月15日)。
- ・湾岸戦争勃発。
- ・雲仙火碎流発生。
- ・ソ連解体。
- ・**1992(平成4)年**
- ・下水道整備ほぼ完了。
- ・基地跡地再開発事業起工式が行われる(5月13日)。
- ・市役所・土曜閉庁を開始。
- ・学校週5日制スタート。
- ・駅ビル「ウイル」がリミネに改称。
- ・ケヨード立川幸町店開業。
- ・長崎屋ホームセンターが若葉町で開業。
- ・立川防災館開館。

**1993(平成5)年**

- ・柴崎市民体育館オープン。
- ・川越道緑地古民家園が開園。
- ・ダイケマ西立川商店街振興組合街区で開業。
- ・冷夏・長雨でコメを緊急輸入。
- ・**1994(平成6)年**
- ・CATV(マイ・テレビ)の放送範囲が市内全域に広がる。
- ・女性総合センター・アイムがオープン。
- ・諏訪神社の本殿等が全焼。
- ・ファーレ立川内にハレスホテル開業。
- ・ウインターフェスタ開催。
- ・東京都赤十字血液センター、防災基地内に設置。
- ・**1995(平成7)年**
- ・中央図書館オープン。
- ・普清寺が全焼。
- ・看護専門学校開校。
- ・中央線の三駅駅一立川駅間連続立体交差(高架化)事業が建設大臣から認可。
- ・国立立川病院と国立王子病院が統合され、国立病院東京災害医療センターが開設。
- ・立川警察署、防災基地内の現警察署に移転。2月14日より業務開始。
- ・阪神淡路大震災(1月17日)。
- ・ザ・クレストホテル錦町に新規開業。
- ・高島屋 ファーレ内に移転開業。
- ・中華料理加盟店で「うどらーメン」新発売。
- ・地下鉄サリン事件。
- ・もんじゅナトリウム漏れ事故。

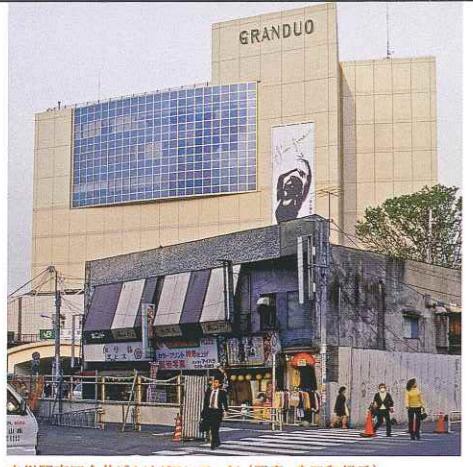
**1996(平成8)年**

- ・総合リサイクルセンターオープン。
- ・立川女子高校山岳部がコングール第4峰に世界初登頂、都民栄誉賞を受賞。現在はダンス部も活躍がめざしい。



(写真:立川女子高校山岳部)

- ・立川駅南口合体ビル起工式(12月25日)。
- ・駅ビルリミネ新装開店。
- ・立川郵便局新築披露。
- ・**1997(平成9)年**
- ・立川市、東京都合同総合防災訓練。



立川駅南口合体ビルはグランデュオ（写真：武田和紀氏）



国語研の庭のオブジェもファーレアート



二代目のめがね橋（レール橋）から三代目に架け替える工事中に土の中からあらわされた一代目めがね橋の橋脚部分（昭和11年以前に人が渡っていた橋）

- ・アクアパークモデル事業、根川緑道完成。
- ・根川緑道に歌碑、歴史民俗資料館に句碑を建立。
- ・立川駅エレベーターの使用を開始。
- ・立川駅南口のシンボルソリーのけやきが、移植された。
- ・消費税5パーセント。

#### 1998(平成10)年

- ・玉川上水駅付近が立体交差に。
- ・多摩都市モノレール北区間開業（11月27日立川北・上北台間）。
- ・長野オリンピック開催。

#### 1999(平成11)年

- ・立川駅南口歩行者専用デッキ供用開始。
- ・立川駅南口合体ビルオープン。
- ・国営昭和記念公園で皇太子同妃両殿下をお迎えして「みどりの愛護のつどい」開催（4月28日）。

#### 2000(平成12)年

- ・多摩都市モノレール全線開業（1月10日）。
- ・介護保険スタート。
- ・子ども家庭支援センターオープン。
- ・市制施行60周年記念事業をNHKと共に催。
- ・噴火により三宅島全島避難。

#### 2001(平成13)年

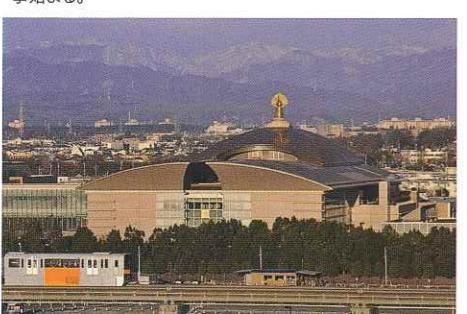
- ・立川駅北口駅前広場歩行者専用デッキ一部開通。
- ・立川駅南口駅前広場歩行者専用デッキ一部開通。
- ・立川駅南口駅前広場にバスが乗り入れ。
- ・国営昭和記念公園砂川口開園。
- ・米国同時多発テロ（9月11日）。
- ・アフガニスタン空爆。

#### 2002(平成14)年

- ・新庁舎の移転場所が泉町の基地跡地に決まる。
- ・完全学校週5日制始まる。教育目標を改定。
- ・市民バス「くるりんバス」が運行開始。

#### 2003(平成15)年

- ・「都市軸」が開通。
- ・JR中央線（三鷹駅から立川駅間）連続立体交差事業 仮線工事始まる。



恒明潮祥之舎 応現院



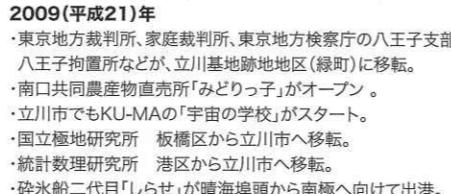
映画館に赤ちゃんがいっぱい（2016年は10回目の開催）



宇宙の学校 立川では錦学習 しらせ（写真は2010年11月に撮影）



三代目めがね橋



2009(平成21)年

- ・東京地方裁判所、家庭裁判所、東京地方検察庁の八王子支部、八王子拘置所などが立川基地跡地地区（緑町）に移転。
- ・南口共同農産物直売所「みどりっ子」がオープン。
- ・立川市でもKU-MAの「宇宙の学校」がスタート。
- ・統計数理研究所 板橋区から立川市へ移転。
- ・碎氷船二代目「しらせ」が晴海埠頭から南極へ向けて出港。



赤くなった時「下塗り」だと思っていた人も多かった



第一小学校と柴崎学習館



第一小学校140周年の年 2020年が150周年になる



2012年9月1日 ブルームーン

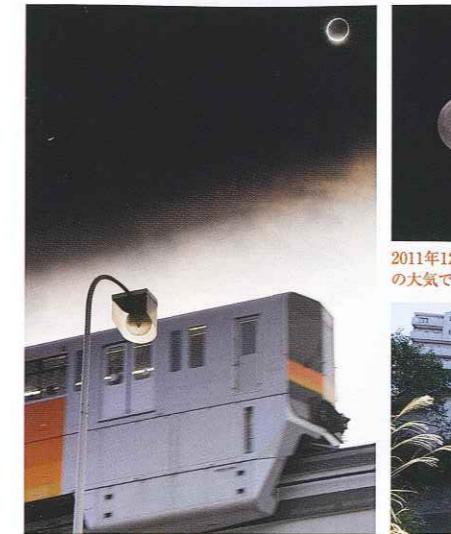


けやき座



みどり地区で生まれたヤギも元気に育った

昭和時代



2012年5月21日 金環日食



旧梅田医院



建替え前の第一小学校校舎にあった郷土資料室には卒業生の集合写真が貼られてあった

出現。

- ・東京都・立川市合同防災訓練実施
- ・大衆劇場「けやき座」オープン。
- ・ホテル日航立川 東京が開業。

・米国とキューバが54年ぶりに国交回復。

・2015年歐州難民危機。

・世界の平均気温が過去最高を更新。

#### 2016(平成28)年

- ・市役所新庁舎が落成、業務開始。
- ・めがね橋架け替え。
- ・市制施行70周年。
- ・国立極地研究所 南極・北極科学館開館。

#### 2011(平成23)年

- ・東日本大震災が発生（JR立川駅周辺で帰宅困難者に対応・計画停電が実施される 3月11日）。
- ・西武立川駅北口開設。
- ・アナログ放送終了、地上デジタル放送に完全移行。
- ・統計数理研究所に統計思考院開設。
- ・国立音楽大学に新1号館完成。
- ・バチカン図書館で多くの切支丹関係史料が見つかる。
- ・空の不思議が暮れにかけて多くなる。

#### 2012(平成24)年

#### 2015(平成27)年

#### 2016(平成28)年

- ・第一回立川シティハーフマラソン
- ・第一小学校建替え事業を開始（解体工事が始まる）。
- ・立川市オリジナルキャラクターが「くるりん」に決定。
- ・国の有形登録文化財だった立川の洋館「旧梅田医院」取り壊される。
- ・「立川の魂」といわれた第一デパート借しまれながら閉店。
- ・空の不思議が前年よりさらに多く見られる。

#### 2013(平成25)年

- ・子ども未来センターがランドオープン。
- ・立川まんがぱーくオープン。
- ・立川駅北口デッキのアーチ塗り替え。
- ・学校給食共同調理場がオープン。
- ・ファーマーズセンターみのーれ立川オープン。
- ・市民会館にネーミングライツを導入（RISURUホールに決定）。
- ・家庭ごみ戸別収集・有料化を実施。
- ・国文研に古典籍データベース研究事業センター設置（後に、古典籍共同研究事業センターに改組）。

#### 2014(平成26)年

#### 2015(平成27)年

#### 2016(平成28)年

#### 2017(平成29)年

- ・2月8日と15日に例年にない大雪降る。東北地方は78年ぶりの降雪量となった。78年前の昭和11年も雪が多く、都心でも38cm積もったと当時の記録にある。
- ・南極に置き去りにされた樽太犬15頭の像が、南極・北極科学館西側に設置された。
- ・第一小学校等複合施設が落成。
- ・女性総合センター開館20周年。
- ・ファーレ立川アート修復再生事業を開始。
- ・立川市都市計画立川駅南口土地区画整理事業の完了。

#### 2018(平成30)年

- ・「たちかわ交流大使」に山下洋輔さんが就任。
- ・立川市史編さんを開始。
- ・東大地震研究所～立川断層講演会で断層が市内に存在しないことを報告。
- ・戦後70周年事業を開催。
- ・マイナンバー制度が始まる。
- ・立飛ホールディングス、みどり地区を取得。立川にヤギの群れ

#### 2019(平成31)年

- ・出典。
- ・東京都・立川市合同防災訓練実施
- ・大衆劇場「けやき座」オープン。
- ・ホテル日航立川 東京が開業。
- ・米国とキューバが54年ぶりに国交回復。
- ・2015年歐州難民危機。
- ・世界の平均気温が過去最高を更新。

#### 2020(令和2)年

- ・東京オリンピック・パラリンピック開催。
- ・第31回夏季オリンピック・パラリンピック開催。
- ・大相撲立川場所開催。
- ・特急あずさ運転開始50周年。立川駅に北改札開設。
- ・第31回夏季オリンピック・パラリンピック開催。
- ・真如苑 立教80年。



2014年2月15日



タロとジロたち



第一デパート（2012年5月15日）



みどりの文化ゾーンで（2015年合同防災訓練）



立川タクロス 130mで立川では一番高いビルになった

## 表紙の人

立川久泰さん、政子さん、泰弘さん、恵美さん、理人くん  
めぐみ りひと

常陸太田市にあるマンゴク醤油醸造元 立川醤油店。えくてびあんでは2014年8月号『続・蔵出し立川』でご紹介させていただきました。「立川の興りは平安時代の中期に武藏国の国司として京より赴任し、任期後京に帰らず、今の東京都日野市辺りに土着した日奉宗頼を始祖とし、その七代目の宗常が現立川市柴崎町四丁目にある臨済宗玄武山普濟寺辺りに居住し、その地名をとつて立川を名乗ったのが興りである」と『常陸太田西中の立川』には書いてあります。

豊臣秀吉が天下平定を果たした1590年、当時北条氏照の配下にあった立川一族は八王子城落城の戦火に巻き込まれ離散します。そのひとり、立川甚右衛門は1595年常陸太田村に移り佐竹義宣に仕えることになり、常陸太田西中の立川氏の祖となります。現当主の久泰さんには「自分が何代目だったか…」と笑顔でおっしゃるのですが、さすが300年も続くお家柄、母屋の梁や柱には天狗党の乱の時につけた刀傷がそのままに。



母屋 あちらこちらに天狗党刀傷



過去帳

中学教師から醤油屋を継いだ泰弘さんは、何代目だかわからるのは申し訳ないと、ご自分の名刺に醤油屋となって「十二代目」と記しています。実は泰弘さんは次男さん。ご長男の雄一さんは、これまたどういうご縁でし

ょう、奥さまの麻里奈さんとお子さんの陽太くんと一緒に立川市にお住まいなのです。

理人くん、ドイツ語で光を意味するそうですが、陽太くんもひっくり返せば太陽です。立川の姓を守って、ご家族みなさんの未来も光で包れますように。

## かたこと

広報紙「たちかわ物語」がすばらしいです! 2014年より皆さんに紹介している小川優さんのジオラマ。小川さんは「立川市ほど写真史料の多い街はない」とおっしゃいます。推察するに古くから商業の街で、写真を趣味とする余裕のある方や比較的知識層が多くたこと、米軍物資の流入で写真資材が入手しやすかったこと、つまり「撮ってまとめる文化」が立川にはあったのではないかと。それは立川飛行機やリッカーミシンなど、ものづくりの街であったことにも繋がるかもしれません。歴史民俗資料館の写真や「たちかわ物語」を参考にしながら、創刊33年になるえくてびあん、今回はえくてびあん流に立川の歴史を語っています。表紙の立川氏末裔のご家族だけでなく、制作中何度も立川市と茨城県のご縁を感じました。過去を掘り下げ、点を結んで俯瞰してみると、茨城県だけでなく、あらゆるところと時空を超えて、「ハイブリット」から「グローバル」「融合」へと言葉は進み、南極はもちろん月の裏側や火星とも、そして今年はどううバチカンとも繋がりました。年に1回の特集号、よろしかったら今年もじっくりお楽しみください。

えくてびあんスタッフ一同

## えくてびあん ◎

別冊えくてびあん 立川を語る えくてびあん流によむ1200年

平成28年11月19日発行

発行 有限会社 えくてびあん

〒190-0023

東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F

TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065

URL [www.tamatebakonet.jp](http://www.tamatebakonet.jp)

発行人 黒須環

企画・編集 えくてびあん編集スタッフ

デザイン (株)デックC.C.

印刷 三浦印刷株式会社

無断転載を禁じます。